

正 答 表

玉

語

(1) いつしゅう	蹴	おんけん
(2) 穏	健	
(3) 雇	う	やと
(4) 慰	める	なぐさ
(5) 胃腸	蹴	める

(1) (2)
(3) (4)
各2点

(5) イチヨウ	(1)	いつしゅう
(6) ヨクシュウ	(2)	おんけん
(7) ユダねる	(3)	やと
(8) シンコツチヨウ	(4)	なぐさ
翌週	委ねる	う

(5) (6)
(7) (8)
各2点

(5) イチヨウ	(1)	いつしゅう
(6) ヨクシュウ	(2)	おんけん
(7) ユダねる	(3)	やと
(8) シンコツチヨウ	(4)	なぐさ
翌週	委ねる	う

[問1] 4点 [問2] 4点
[問3] 4点 [問4] 4点
[問5] 5点 [問6] 5点
[問1] ①4点 [問2] 4点
[問3] 4点 [問4] 5点
[問5] 5点 [問6] 5点
[問1] ①4点 [問2] 4点

※1 については、読みがなをひらがなで書いても、かたかなで書いててもよい。また、漢字は旧字体で書いててもよい。

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん
(2) 穏	健
(3) 雇	う
(4) 慰	める
(5) 胃腸	蹴

(1) いつしゅう	(2) おんけん

<tbl_r cells="2" ix="2" maxcspan="1" maxrspan="1

正 答 表 数 学

※ の欄には、記入しないこと

(4—寺)

	1	
[問 1]	$\frac{1}{6}$	問1 5
[問 2]	$5 \pm \sqrt{6}$	問2 5
[問 3]	13	問3 6
[問 4]	18 通り	問4 6
[問 5]	$a = 7, b = 12$	問5 6
[問 6]		問6 6

	2	
[問 1]	$\frac{8}{5}$	問1 6
[問 2]	【途中の式や計算など】	問2 10
	P(2, 1), Q(-4, 16)より, P'(-1, 1), Q'(8, 16) 点Pを通り直線P'Q'に平行な直線と, 直線QQ'の交点をSとすると, 点Sの座標は(11, 16) このとき三角形P'PQ'の面積と 三角形P'SQ'の面積は等しいので, 四角形PQ'QP'の面積と三角形P'SQの面積は 等しくなる。 線分QSの中点をRとすると, 線分QSの長さは15なので, 線分QRの長さは $\frac{15}{2}$ であるから, 点Rの座標は $\left(\frac{7}{2}, 16\right)$ このとき2点P', Rを通る直線ℓは, 四角形PQ'QP'の面積を二等分する。 直線ℓの式を $y = mx + n$ とおき, 点P', Rを代入すると $1 = -m + n, \quad 16 = \frac{7}{2}m + n$ これを解いて $m = \frac{10}{3}, \quad n = \frac{13}{3}$ よって直線ℓの式は $y = \frac{10}{3}x + \frac{13}{3}$	
(答え)	$y = \frac{10}{3}x + \frac{13}{3}$	
[問 3] (ア)	$-\frac{3}{4}$	問3(ア) 2
[問 3] (イ)	3	問3(イ) 2
[問 3] (ウ)	$\frac{6}{25}$	問3(ウ) 2

[問 1]	$\frac{9}{2}\sqrt{3}$ cm ²	[問 1 6]
[問 2]	【 証 明 】	[問 2 10]
<p>△ AEB と △ BGD において、</p>		
仮定より $\angle CDF = \angle CDA + \angle ADF = 90^\circ$ …①		
半円の弧に対する円周角が 90° であるから		
$\angle ADB = \angle FDB + \angle ADF = 90^\circ$ …②		
①, ②より $\angle CDA = \angle FDB$ …③		
円周角の定理より $\angle ABC = \angle CDA$ …④		
よって, ③, ④より $\angle ABC = \angle FDB$ …⑤		
また, $\widehat{CD} = \widehat{DB}$ より,		
長さの等しい弧に対する円周角は等しいので		
$\angle CBD = \angle BAD$ …⑥		
⑤, ⑥より, 2組の角がそれぞれ等しいから		
$\triangle AEB \sim \triangle BGD$		
<p>△ AEB \sim △ BGD</p>		
[問 3]	13 cm	[問 3 6]

	4	
[問 1]	8 cm ²	問1 6
[問 2]	$2\sqrt{13}$	問2 6
[問 3]	【途中の式や計算など】	問3 10
<p>△OACにおいて OC上にあり、 AE//HJとなる点を Jとする。</p> <p>$EJ : JC = AH : HC = 1 : 1$</p> <p>$OE = 1 \text{ cm}$ より $CE = 3 \text{ cm}$</p> <p>したがって $OI : IH = OE : EJ = 2 : 3$</p> <p>$IH = \frac{3}{5} OH = \frac{3}{5} \times 2\sqrt{2} = \frac{6\sqrt{2}}{5} \text{ cm}$</p> <p>四角形ABCD = 16 cm^2 より</p> <p>$I - ABCD = 16 \times \frac{6\sqrt{2}}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{32\sqrt{2}}{5} \text{ cm}^3$</p>		
(答え)	$\frac{32\sqrt{2}}{5}$	cm ³

正 答 表

英 語